

生きていく上で欠かすことができない「食」を未来につなぐ、私たちのまちの新規就農者や農業後継者などを紹介します。

霧島の農業をミライへ



前田 達弥さん(29) 静岡県浜松市出身、溝辺町在住。

就農1年目。前田牧場代表。

営農類型: 酪農 営農規模: 乳牛55頭

経営発展支援事業の
詳細はこちら



県

内で11年ぶりに新規酪農家としての一步を踏み出したのが、隼人町西光寺の前田牧場を経営する前田達弥さん(29)です。「元々好きだった動物と関わる仕事があった」と話す前田さん。勤めていた印刷会社を退職し、酪農家を目指して全酪アカデミーに入りました。

酪農の知識や技術を学びつつ、全国にある就農候補地を飛び回る日々。そこで出会ったのが、前身の川崎牧場でした。「この牧場は景観が良く、近くに自給飼料を栽培する畑があるなど立地が良かった」と決め手を話します。

「牧場を引き継いでからは教科書通りにいかないことが多く、病気で死んでしまった牛もいるので、牛の健康管理には特に気を配っています」と苦労を話す前田さん。「大変な毎日ですが、動物と関わる仕事に就く夢がかなえられてうれしい。食卓や学校の給食で、うちの牧場の牛乳が飲まれていると思うと、やりがいを感じますね。将来的には肉用牛も育てたいです」

新規就農者を支援する、経営発展支援事業

現在、55頭の乳牛を飼養している前田さん。牧場を引き継ぐ際に活用したのが、新規就農者が機械設備などを導入する場合の費用の一部を支援する、新規就農者育成総合対策事業(経営発展支援事業)でした。

「乳牛を購入するに当たり、自己資金だけではとても賄いきれなかったため、補助制度があつてとても助かりました。新規就農を目指す人は市の担当者に相談してみては」

☎=農政畜産課 ☎(64)0882

